

●徳山高専●

魅力ある飲食店や景観掲載 土木建築工学科生が歩いてテーマ発見 創造演習で徳山駅周辺の地図づくり



発表する学生

像も映しながら地図の特色やどんな人に使ってほしいかなどを発表した。軽食の店の「かるたべまっぶ」を作った班は掲載したすべての店を食べ歩くなど、どれも街を歩いてテーマや掲載する店舗、場所などを決めた力作ばかり。

散歩用にベンチや景観が楽しめる場所などをまとめた「テクテクとくやま」を作った五班の秋本俊、穂山貴志、山本汐美さんは「散歩が好きなのでみんなが散歩したくなる地図を目指しました」▽老舗地図を作るため古くから営業している商店十店舗を訪れた十二班の笹本康太郎、荒瀬ひかる、藤井睦さんは「ずっと続いている店はお客さんとの関係を大切に、売り方も工夫していることがわかった」と成果を話していた。

徳山高専(平野千博校長)土木建築工学科三年生が創造演習で作った徳山駅周辺の地図の発表会が二十七日、同駅ビルの周南市民交流センターで開かれ、徳山サイクリングMAPや徳山老舗地図、「徳山の絶景を見つけたよ」など十五種類を学生たちが説明した。この授業は「絵地図でまちを再発見!新たな価値づくりに挑戦」で、三、

四人ずつの班でテーマを決めて地図を作り、商店街に説明のポスターと一緒に展示して人気投票もした。

発表会は市商工観光課、建築士、デザイナーなどに審査を依頼し、学生たちはスクリーンに映